

都市再生整備計画(第1回変更)

とくやま えきしゅうへん
徳山駅周辺地区

やまぐち しゅうなん
山口県 周南市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	しゅうなんし 周南市	地区名	とくやまきしゅうへんちく 徳山駅周辺地区	面積	180	ha							
計画期間	平成	23	年度	～	平成	29	年度	交付期間	平成	23	年度	～	平成	27	年度

目標

徳山港周辺(レクリエーション・交通拠点)～徳山駅周辺(商業業務・交通拠点)～市役所周辺(行政拠点)～徳山公園周辺(市民・文化拠点)までの区間を周南市の都心軸として設定しており、その中でも市の玄関口である徳山駅周辺地区の拠点性を強化させ、また、拠点間の連携効果の発揮により、中心市街地の活性化、街なか居住の推進、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図る。

①都心軸に位置するさまざまな都市機能連携し、徳山駅周辺地区を周南市の顔としての拠点性を強化させ、中心市街地の活性化を図る。
 ②徳山駅および周辺の交通関連施設の整備、交通動線の明確化、バリアフリー化を進め、交通結節点機能の向上を図る。
 ③戦後の土地区画整理事業により形成された御幸通り、岐山通り等の優れた都市基盤を活かした都市機能集積を図り、都市魅力の回復と向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・周南市の中心市街地は、山口県を代表する商業・業務の拠点として発展してきたが、近年、他の地方都市と同様に空洞化が進行しつつある。
- ・平成15年4月に徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町が合併し、さらには同年10月1日より新幹線のぞみが徳山駅に停車するようになり、本地区は周南市の中心として一層高い位置付けとなった。
- ・平成19年度に周南市都市計画マスタープラン、平成21年度には周南市まちづくり総合計画後期基本計画を策定し、中心市街地の活性化、街なか居住の推進、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図ることとしている。
- ・「徳山下松港ポータルネッサンス21調査報告書」(平成3年3月山口県)では、優れた交通立地性や恵まれた親水空間など高いポテンシャルを有する徳山下松港のウォーターフロントゾーンを、中心市街地整備に合わせ再備するとともに、臨港地区として業務機能の集積などによる有効利用を促進し、人々に親まれる活気ある港湾を目指すこととしている。
- ・「徳山駅周辺整備構想」(平成17年2月周南市)の策定にあたり、学識経験者、関係交通機関、公募市民と協働で63回(延べ約600人)のワークショップや検討会を実施し、まちづくりの気運も盛り上がっている。
- ・「徳山駅周辺整備構想」を踏まえ、「徳山駅北口駅前広場、南口駅前広場及び南北自由通路基本計画」(平成21年12月)を策定し、まちづくりの計画を着実に進めている。
- ・公・民連携まちづくり委員会(社会実験:店舗の実証実験等)の実施や、徳山駅周辺デザイン会議・シンポジウム(会長:篠原修 東京大学名誉教授、副会長:羽藤英二 東京大学大学院教授)の実施による協働を展開中。
- ・まちづくり会社が設立され、勉強会や意見交換会を実施し、中心市街地活性化基本計画の国の認定を目指している。

課題

○広域的な拠点性の向上と中心市街地の活性化

- ・山陽新幹線をはじめとする鉄道やバスなどの広域交通の要衝であり、本市の顔、玄関口として重要な役割をはたす地区であるが、景観、利便性等に配慮した一体的な整備がなされていない。
- ・合併し新たに誕生した本市にとって、本地区は都市機能や多様な産業がある程度集積しているにもかかわらず、拠点性や、都市としての魅力が以前ほど発揮されていない。
- ・行政と市民が取り組む中心市街地活性化に向けた公・民連携活動、商店街活性化のためのソフト事業の展開等に取り組んでいるが、効果は十分発揮されているとはいえない。

○バリアフリー化の推進と交通結節点機能の改善

- ・駅および周辺施設においては、階段等の段差のある施設も多く、エレベーター、エスカレーター等の整備も十分でなく、ユニバーサルデザイン、バリアフリー化への対応の遅れが目立つ。
- ・JR徳山駅には、山陽新幹線をはじめとする鉄道やバス、タクシー、また、徳山港には、周防灘フェリーや大津島巡航が就航するなど、本地区は広域交通の結節点である。しかしながら交通処理の円滑化や安全性に問題があり、交通結節点として十分機能していない。

○地区の魅力向上と南北連携の強化

- ・人が集まり、賑わいを創造するための、人にゆとりと潤いを与える「憩いの場」が不足している。
- ・駅北側には周南地区の発展をリードしてきた商店街・商業施設が集積し、また、周南地域のバス交通の拠点となるバスターミナル機能を有している駅前広場や、緑豊かな御幸通り、駅南側には、県がポータルネッサンス21計画で整備を進めている徳山下松港がある。しかしながら、シームレスな歩行者ネットワークは整備されておらず南北が分断されている。

将来ビジョン(中長期)

- ・周南市まちづくり総合計画後期基本計画(2010～2014)では、まちづくりの方向とテーマを『「らしさ」溢れるまちづくり』とし、周南市を取り巻く状況の変化、市民のまちづくりへの意識、評価を踏まえ、重点推進プロジェクトとして5つの「立市プロジェクト」と1つの「地域振興プロジェクト」を掲げている。この中の「産業立市」プロジェクト、「観光・交流立市」プロジェクトにおいて、地域産業活性化の推進と中心市街地の整備・充実のために次のプロジェクトを重点推進するとしている。
 - ・中心市街地活性化の推進
 - ・徳山駅周辺整備事業の推進
 - ・都心軸を中心としたまちづくりの推進
 - ・「徳山駅北口駅前広場、南口駅前広場及び南北自由通路基本計画」(平成21年12月)を策定し、徳山駅周辺地区の活性化の具体的な計画づくりに着手している。

目標を定量化する指標

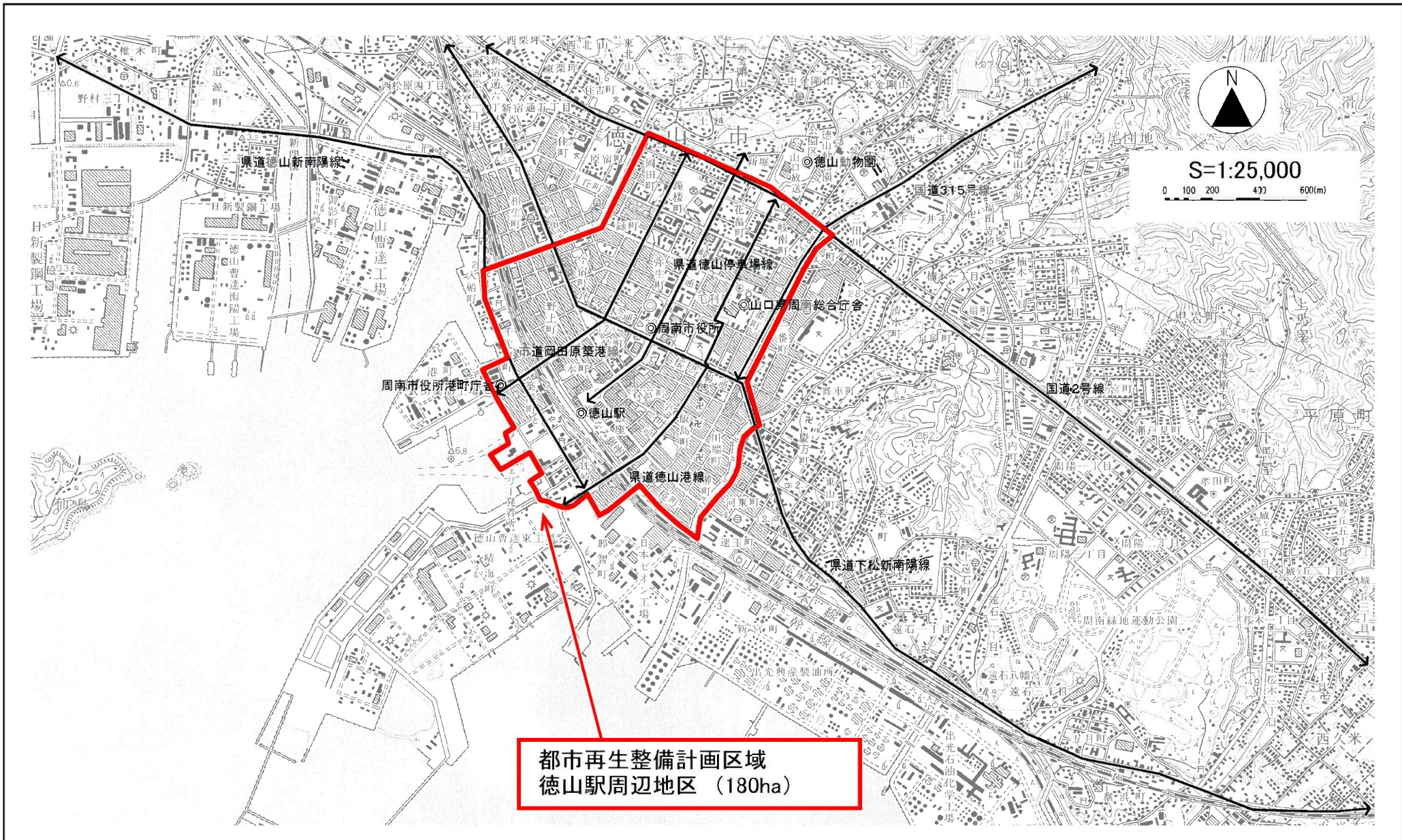
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値			
					基準年度		目標年度		
1. 駅南北間の歩行者交流人口	人/日	南北自由通路を利用した駅南北間の歩行者交流人口	南北の連携や、両地区の魅力向上による交流人口数の増加効果を把握するため、駅南北間の交流人口数を指標とし、その増加を目指す。	1,162	人/日	H22	1,200	人/日	H27
2. 北口駅前広場の歩行者通行量	人/日	北口駅前広場(駅前東側)の歩行者通行量	駅周辺事業による都市魅力の回復と向上、及び中心市街地活性化の進捗を把握するため、北口駅前広場(駅前東側)の歩行者通行量を指標とし、その増加を目指す。	4,131	人/日	H22	4,500	人/日	H27
3. 市道等のバリアフリー化率	%	市道および南北自由通路のバリアフリー化率	市道等のバリアフリー化の達成度を把握するため、目標年度の整備計画に対する達成状況を把握する。	41.0%		H22	100.0%		H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1)都市の魅力向上と賑わいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道により分断された南北の各連絡道および港へのアクセス道を整備し、駅を中心として商店街やウォーターフロントへの交流人口を増やし賑わいを創出する。 ・統一的なデザインコンセプトのもと、南北駅前広場および駅施設のシンボリックな整備により、都市景観を向上させ市の顔としてふさわしい玄関口とする。 ・休憩、滞留、販売、情報発信等のさまざまな機能を導入した市民交流センター、南北自由通路を整備し、市民活動の拠点づくり、地区周辺の賑わいの創出、中心市街地の活性化を図る。 ・施設の企画段階から最終的な運営方針までを市民と協働で検討し、住民まちづくりの活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北自由通路整備事業(地域生活基盤施設) ・駅前ロータリー美化事業(高質空間形成) ・駅前地下駐車場エレベーター整備事業(高質空間形成) ・市道バリアフリー化整備事業(高質空間形成) ・ポケットパーク整備事業(地域生活基盤整備) ・駅東側区画道路整備事業(道路) ・駅東側駐輪場整備事業(地域生活基盤施設) ・まちづくり社会実験(店舗実証実験、歩車共存道路化検討事業、まちづくりイベント等)(提案) ・駅ビル跡地等活用事業(提案) ・徳山駅橋上駅舎事業(関連事業) ・(都)徳山停車場線(徳山駅北口駅前広場)(関連事業) ・(都)海岸通線(徳山駅南口駅前広場)(関連事業) ・徳山駅移動円滑化施設等整備事業(関連事業) ・徳山駅西側駐車場・駐輪場整備事業(関連事業) ・ポートルネッサンス21事業(関連事業) ・パークタウン等社会実験(関連事業) ・道路バリアフリー化(国道、県道)(関連事業) ・賑わい交流施設整備事業(関連事業)
<p>整備方針2)人にやさしい駅の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北駅前広場およびフェリーターミナルの各交通機関の相互乗換がスムーズに行えるようにレイアウトを再配置し、利用者動線の明確化と円滑化を図り、交通結節点機能を改善する。 ・駐車場駐輪場整備計画を策定し、違法駐車による交通渋滞や放置自転車による都市景観の阻害を解消する。 ・バリアフリー基本構想を基に、高齢者や障害者等の移動制約者が、交通公共機関や駅周辺施設を快適かつ安全に移動できる施設整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北自由通路整備事業(地域生活基盤施設) ・駅前ロータリー美化事業(高質空間形成) ・駅前地下駐車場エレベーター整備事業(高質空間形成) ・ポケットパーク整備事業(地域生活基盤整備) ・駅東側区画道路整備事業(道路) ・駅東側駐輪場整備事業(地域生活基盤施設) ・駅ビル跡地等活用事業(提案) ・徳山駅橋上駅舎事業(関連事業) ・(都)徳山停車場線(徳山駅北口駅前広場)(関連事業) ・(都)海岸通線(徳山駅南口駅前広場)(関連事業) ・徳山駅移動円滑化施設等整備事業(関連事業) ・徳山駅西側駐車場・駐輪場整備事業(関連事業) ・パークタウン等社会実験(関連事業) ・賑わい交流施設整備事業(関連事業)
<p>整備方針3)都心軸の形成によるゆとりある空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心軸である徳山港周辺(レクリエーション・交通拠点)～徳山駅周辺(商業業務・交通拠点)～市役所周辺(行政拠点)～徳山公園周辺(市民・文化拠点)の中でも、市の玄関口、顔である徳山駅周辺地区の強化と拠点間の連携効果の発揮により、中心市街地の活性化、街なか居住の推進、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図る。 ・象徴的な御幸通の緑軸を受け止めるオープンスペースを北口駅前広場に設置し、ゆとりと潤いの空間を創出する。 ・都心軸にストーリー性のある賑わいの軸を形成するために、オープンスペースやゆとりある歩道空間、高質な空間を整備・確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北自由通路整備事業(地域生活基盤施設) ・駅前ロータリー美化事業(高質空間形成) ・駅前地下駐車場エレベーター整備事業(高質空間形成) ・市道バリアフリー化整備事業(高質空間形成) ・ポケットパーク整備事業(地域生活基盤整備) ・駅東側区画道路整備事業(道路) ・駅東側駐輪場整備事業(地域生活基盤施設) ・駅ビル跡地等活用事業(提案) ・まちなかアメニティ推進事業(提案) ・まちづくり社会実験(店舗実証実験、歩車共存道路化検討事業、まちづくりイベント等)(提案) ・まちづくり実態調査(まちづくり交通実態調査等)(提案) ・徳山駅橋上駅舎事業(関連事業) ・(都)徳山停車場線(徳山駅北口駅前広場)(関連事業) ・(都)海岸通線(徳山駅南口駅前広場)(関連事業) ・徳山駅移動円滑化施設等整備事業(関連事業) ・ポートルネッサンス21事業(関連事業) ・パークタウン等社会実験(関連事業) ・道路バリアフリー化(国道、県道)(関連事業) ・賑わい交流施設整備事業(関連事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動について ・行政においては、鉄道、バス、タクシーなどの交通機関や周辺商店街の活動団体と密接に連携を図り、駅を中心とするにぎわいの創出に向けた取り組みを継続してこととしている。 ・徳山駅周辺地区整備における港湾計画との整合性の確保、周辺道路網との連携と調和、中心市街地の活性化に資するソフト施策との連携、都市全体の景観形成のあり方などの検討課題を、関係機関との協議、調整のもとに検討を進め、周南市の顔づくりを推進していく予定である。 ○交付期間中の計画の管理について ・交付期間中のまちづくりの目標達成に向け、関係各課が連携して、問題の処理、計画の調整・改善を行う。 ○まちづくりに対する市民意識について ・平成20年(2008年)に実施したまちづくり市民アンケート(：18歳以上6,500人対象、回収率47.1%、回答数3,059件)では、「周南市のまちづくり」において今後のまちづくりで重要度が高いものは「徳山駅中心の市街地活性化」が第一位で、市全体で30.1%、都市地域で34.9%の回答となっており、中心市街地を含め市全体で活力・にぎわいの創出に寄与する施策の推進が急務である。 ○商業活性化に向けたソフト的取り組みとの連携について ・平成21年度から国の認定を目指した中心市街地活性化基本計画の策定に取組んでおり、まちづくり会社が設立され、中心市街地活性化の協議会も発足した。 ・平成21年度から取組んでいる中心市街地活性化基本計画の中では、商店街コーディネートの仕組みづくりや、空き店舗活用に向けた誘導策、新規出店の事業立ち上げの支援等のソフト的な取り組みを計画しており、商業者との協働により地域の商業活性化を図っていく予定である。 	

都市再生整備計画の区域

徳山駅周辺地区(山口県周南市)	面積 180 ha	区域 御幸通2、銀南街、新町1、有楽町 他
-----------------	--------------	--------------------------



徳山駅前周辺地区(山口県周南市) 整備方針概要図

目標	徳山港周辺(レクリエーション・交通拠点)～徳山駅周辺(商業業務・交通拠点)～市役所周辺(行政拠点)～徳山公園周辺(市民・文化拠点)までの区間を周南市の都心軸として設定しており、中でも市の玄関口である徳山駅周辺地区の拠点性を強化させ、また、拠点間の連携効果の発揮により、中心市街地の活性化、街なか居住の推進、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図る。 ①都心軸に位置するさまざまな都市機能を連携し、徳山駅周辺地区を周南市の顔としての拠点性を強化させ、中心市街地の活性化を図る。 ②徳山駅および周辺の交通関連施設の整備、交通動線の明確化、バリアフリー化を進め、交通結節点機能の向上を図る。 ③戦後の土地区画整理事業により形成された御幸通り、岐山通り等の優れた都市基盤を活かした都市機能集積を図り、都市魅力の回復と向上を図る。	代表的な指標	1 駅南北間の歩行者交流人口	人/日	1,162 (平成22年度) → 1,200 (平成27年度)
	2 北口駅前広場の歩行者通行量		人/日	4,131 (平成22年度) → 4,500 (平成27年度)	
	3 市道等のバリアフリー化率		%	41.0 (平成22年度) → 100.0 (平成27年度)	

